

第4章 私たちの北海道



釧路港（釧路市）



松前城（松前町）



北方領土

北海道には、大きな都市の他にも、特ちょうのあるまちがあります。

例えば、釧路市は港町として有名で、多くの漁船が集まります。知床半島では、野生動物など自然遺産の対象を守る努力が続けられています。文化については、松前町は、和人にとっての古い歴史があるまちとして知られています。



松前町は、木古内町からは西に自動車で1時間ぐらいの場所にあります。お父さんと、松前のお城を見に行ったこともあります。松前町には、600年ぐらい前から、和人が住み始めたそうです。



他に、北海道の中で特ちょうのある地域としては、北海道の一番北にある北方領土。今はロシア連邦が不法に占拠していますが、日本固有の領土です。

北海道の中で特ちょうのある地域を探して、話し合ったり、表を作ったりしましょう。

第4章 私たちの北海道

【北海道の交通の広がり 道路と鉄路】



津軽海峡フェリー



木古内駅に停車した北海道新幹線

北海道はとても広い地域です。人やものを運ぶために、さまざまな交通手段が使われています。道路（自動車）・鉄道（列車）・港（船）・空港（飛行機）の四つが主な交通手段です。



北海道の鉄道のつながりをよく見ると、鉄道の中心となっている場所が見つかるでしょうか。



北海道の鉄道の中心があるとしたら、そこからどんな場所まで鉄道はつながっているのでしょうか。



北海道の道路網についても中心となる場所があり、そこから、各地と高速道路や国道で結ばれているようです。

しらべてる

北海道の交通は、どのように広がっているのでしょうか。

学びのポイント

道内の主な道路や鉄道、港や空港の位置を調べよう。

道内の交通の広がりや、地形や土地利用の関係を話し合おう。

冬は雪により線路や道路が凍ってしまうことへの対策が欠かせません。

第4章 私たちの北海道

【北海道の交通の広がり 海路と空路】



函館港



新千歳空港（千歳市・苫小牧市）

北海道の港には、漁船が海でとった海産物を下ろすための漁港もありますが、交通手段として使われるのは、人や荷物を運ぶための港です。これらは貨物船、フェリーボート、客船などに利用され、北海道と他地域をつなぐ輸送に役立っています。



港は人の移動を支える玄関口の一つであるとともに、重量のある貨物を運ぶことができます。



北海道の空港には、中心となる大きな空港と、そこから結ばれている各地の空港があります。空路によって、道内各地から本州・海外との行き来ができます。



港によっては、冬は流氷の対策が必要なところもあります。天候により飛行機の運行は、不安定になるときもあります。

北海道の交通は、鉄道・道路・港・空港が役割分担し、広い道内の移動や物流を支えています。それぞれの交通手段の性質や役割を表にしてまとめてみましょう。

言葉

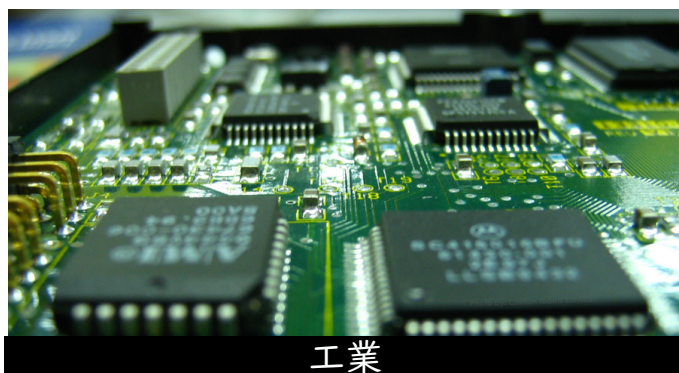
交通



交通は、人や物を運ぶための大切な働きをしています。多くの人や物が集まる都市には、交通路が集まって、人や物の動きを支えています。

第4章 私たちの北海道

【北海道の主な産業】



ほっかいどう はくちず
北海道白地図
二次元コードはスキャン

ここを
クリック



みんなは、道内の産業を地図帳や資料などで調べて、白地図に書きこむことにしました。



地図帳を見ると、北海道の海岸すべてで魚介類の記号が多いですね。



十勝平野には、じゃがいもの記号が多くありますね。渡島半島の日本海側にたくさんあるこの記号は何だろう。



人口の多い都市には商店が多く、大きな役所、新聞社やテレビ局があります。

調べる

北海道には、どの辺りにどのような産業があるのでしょうか。

学びのポイント

道内のどの辺りにどのような産業があるのか調べよう。

これまでに調べたことと、産業はどのように関係しているのか考えよう。

第4章 私たちの北海道



北海道の人は、広い大地や海があること、他の都道府県よりも寒い気候をうまく利用して、さまざまなものを生産しています。

また、多くの食料が生み出されていますが、それらの一部は、食品工場で加工した後、全国の消費者のもとへ運ばれます。

どの地域で何を作り出すことが盛んか、交通とのつながりも合わせて、考えてみましょう。

言葉

産業

農業・水産業・工業・商業など、社会を支えるさまざまな仕事を産業といいます。地域の産業は、その土地の自然や文化、伝統などと深く結びついています。



道南米「ふっくりんこ」最も優れた生産者を決める「ふっくりんこ 極（きわみ）」食味コンテストでは、木古内町の事業者が優勝しています。